

健やかに生き、安らかな最期を

# Living Will

リビング・ウィル

行動する  
協会をめざしました

理事長として11年

法制化に取り組み

社会に「ミット

井形昭弘

協会名誉会長

インタビュー

2016年  
4月発行  
No.161

Living Will

No.161 2016年4月発行

発行 一般財団法人日本尊厳死協会 編集 協会会報編集部

デザイン FROG KING STUDIO 印刷 JP ビズメール株式会社

## 出版案内

日本尊厳死協会が会員の皆様にお勧めする必読の書。好評発売中です。



## 人生の最期で迷わないために 尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく説明しています。あなたの「?」に答えがあります。

- がんの末期 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す?
- 持続的植物状態 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら?
- 腎不全 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら?
- 救急医療 日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは?
- 認知症 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は?
- 老衰 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か?

自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。  
医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。

## 新・私が決める尊厳死 「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社

## 医療用麻薬のモルヒネ 適正使用で「痛み」はとれる

医療用麻薬を適切に使用した緩和医療は会員の願いです。

### ●激痛から解放された

「痛みが取れ、夜よく眠れて、食欲も出てきた。夢のようです」——モルヒネの投与で激痛から解放された患者の喜びの声です。

### ●誤解されているモルヒネ

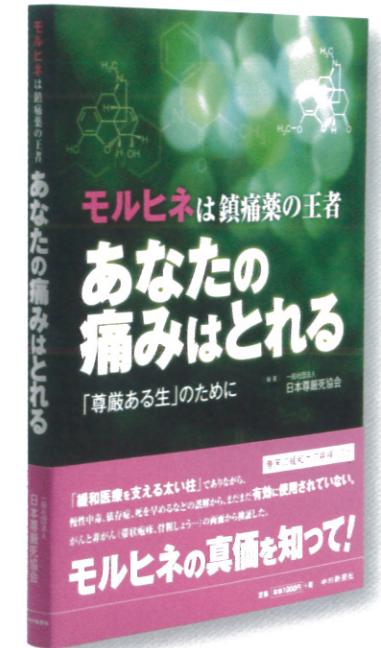
モルヒネの「中毒になり、死期を早める」「がん末期にしか使えない」といった誤解は、世界の医学界が否定しています。適正に使用すれば「鎮痛薬の王者」なのです。

### ●がん以外の痛みにも効果

帯状疱疹後神経痛、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症による脊椎の圧迫骨折、バージャー病、閉そく性動脈硬化症など、がん以外の痛みにも効果があります。

### ●専門医がアドバイス

執筆者の1人、加藤佳子医師は、「痛みは本人にしか分からない。我慢しないで、医師に『痛みを取ってください』と言いましょう」と呼びかけています。



## モルヒネは鎮痛薬の王者 あなたの痛みはとれる

編著 日本尊厳死協会 発行 中日新聞社

お求めは協会事務局で

いずれも1100円(税・送料込)。お名前、住所、購入希望本を明記のうえ、代金を現金書留または定額小為替か  
切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に郵送してください。



いがた・あきひろ

1928年、静岡県生まれ。東京大学医学部卒、スモン病の研究で知られ鹿児島大学医学部教授、同大学長、あいち健康の森総合センター長を経て現職。日本尊厳死協会では理事長から名誉会長。

協会名誉会長、名古屋学芸大学学長

井形昭弘さんは、40年の歴史を刻んだ日本尊厳死協会で2002年から11年間理事長を務められた。87歳のいまも教壇に立つ名古屋学芸大学に訪ねた。

協会理事長を退任された後も大学では「尊厳死」を講義するとお聞きしました。

私学の名古屋学芸大学（愛知県日進市）です。73歳のときに理事長と前後して学長になり、それ以来「高齢者医療福祉概論」の授業を持つています。管理栄養学部とヒューマンケア学部で90分授業が年3コマあるうち1回を「尊厳死」に充てています。

教室ではパソコンでスクリーン映像を使い、「人間の最期は自然の摂理に委ねよう」「そのためにもリビングウイル（LW）が」と説いていますよ。

学生の反応はどうですか。

ほとんどが女子学生で、生と死の問題は初めてのようでフレッシュに受けとめられています。提出リポートでは「授業を聴いて自分

## 井形昭弘さん 社会に新しい魅力を

interview

インタビュー／白井正夫・協会理事（元新聞記者）  
構成／編集部 写真／飯野幸雄

主導して長寿を研究し始めました。キミも加わりなさいということで、新天地のつもりで国立長寿医療研究センター（愛知県大府市）づくりに参加しました。

平均寿命が幾ら伸びても人は必ず死ぬのだから、それなら健やかに長生きして最期は安らかにが人の幸せではないか、と論文をまとめました。これが協会の役員をしていました先輩医師の目にとまり、「協会の考えと一緒に、少しは汗をかきなさい」と引きも少しこれまでしまって（笑い）。

たどり着いた先に待っていた尊厳死

神経内科から老年医学へ移ったのは、まあ、ボク自身が少しづつ年を取ってきたからかな。骨を埋める覚悟だった鹿児島を離れた新天地で待っていたのが尊厳死。ここにたどり着いたのは医師として当然の帰着と思っています。

協会のかじ取りをした2000年代初めは終末期医療にかかわる出来事がいろいろありました。

難病研究の医師が長寿研究に転身されましたか。  
神経難病などを研究した医学部教授や学長を務めた鹿児島大学を辞めるところ、高齢社会に備え国が

はそういうが、親に対しても…」と正直な意見が少なくありません。読むのが楽しみです。

栄養士国家試験に「尊厳死と安樂死の違い」が出題されたこともあります。終末期医療と自己決定は学生が身に着ける教養と思っています。

何千人の若者が尊厳死の考え方と巡りあつたのですね。

ボクは授業で尊厳死を押し付けようという気はありません。法律

の問題は初めてのようでフレッシュに受けとめられています。提出リポートでは「授業を聴いて自分

の帰着と思っています。

協会のかじ取りをした2000年代初めは終末期医療にかかわる出来事がいろいろありました。

会員になつたのは日本学術會議

が「尊厳死容認」を打ち出した

1994年で、東海支部の活動に

かかわりました。会報前号の「写真で語る歩み」で紹介された東海

支部の自作劇公演では、ボクも病名告知で悩む主治医役で舞台に立ちました。あれも楽しかった。

## 大声で反論も

### 厚労省の審議会

北山六郎氏（元日本弁護士連合会会長、故人）から理事長のバトンを受け継ぎました。その1か月前に医師が末期患者を安樂死させたとする川崎協同病院事件が明らかになり、騒然とした中でした。

大聲で反論も



引き受けた以上は、サロン的でなく、「行動」を自分の気持ちに言い聞かせたわけです。「尊厳死法制化」への取り組みも、協会自身が努力しないとダメという思いが強く、「行動」の第一歩でした。

役員のみなさんと議員連盟の立ち

# LW授業で人権感覚養う めざせ、健やか百歳

取材を通して「尊厳死は安樂死と違う」「自己決定が大切」を力説し、理解してもらうのも大変だった思い出っています。

その後、協会は尊厳死法制化運動に具体的に取り組み、揺れ動く社会に積極的にコミットしていくことを思いました。

確かに「行動する協会」を突破口に掲げました。

議員連盟が活動して10年余が経過しました。正直いうと、当初は「法律はすぐにでも」と楽観したこともありました。でもいろいろなレベルの反対論が根強くありました。

一方、近年の大きな変化で、厚

労省、各医学会の終末期医療ガイドラインが「本人意思尊重を第一に」と掲げ、個々の病院が用意する意思表明書も多くなりました。

何年か前までLWと言えば尊厳死協会でした。それがそうでもなくなり、高齢者が愛用するエンディングノートにもはさまれているほどの社会状況が変わりました。

LWと井形さんは忘れられない

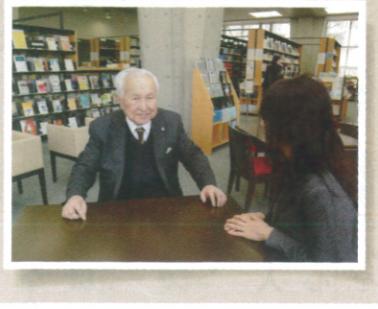
上げ、レクチャーなどで何十回も永田町に足を運びました。

念願の法制化もなかなか新しい局面が開けません。

議員連盟が活動して10年余が経過しました。正直いうと、当初は「法律はすぐにでも」と楽観したこともありました。でもいろいろなレベルの反対論が根強くありました。

一方、近年の大きな変化で、厚労省、各医学会の終末期医療ガイドラインが「本人意思尊重を第一に」と掲げ、個々の病院が用意する意思表明書も多くなりました。

何年か前までLWと言えば尊厳死協会でした。それがそうでもなくなり、高齢者が愛用するエンディングノートにもはさまれているほどの社会状況が変わりました。



人の最期のあり方というと高齢者の問題と、いがちです。人権という視点で学生と向かい合う井形さんの気持ちがとても新鮮に映りました。東海地方の一角からこんな授業が各地の学校、大学に広がれば、日本の明日は変わるものではないかと思いました。

そのフレッシュ井形さんは「独居老人」と呼ばれることあまり好きでないようでした。念のため、

十数年前、ボクが70過ぎのころ家内を亡くしました。どこの亭主か百歳」をあちこちで話していました。ボクは今年9月、世間でいう米寿を迎えるが、「めざせ、健やか百歳」をあちこちで話していました。ボクは今年9月、世間でいう米

いシーンがあります。厚労省の諮問委員会で、ある委員が人の考え方

は変わりやすいから「10分前のLWはもう化石だ」と発言しました。

参考人で招かれていた理事長がなきLW批判にはもう反射的にねええ。授かつた大声にはただ感謝です。

そう、覚えていますよ。いわれなきLW批判にはもう反射的にねええ。授かつた大声にはただ感謝です。

参考人で招かれていた理事長が「本人意思尊重は人権運動の一つ」と大声で反論しました。数年前のことでもありました。でもいろいろなレベルの反対論が根強くありました。

一方、近年の大きな変化で、厚労省、各医学会の終末期医療ガイドラインが「本人意思尊重を第一に」と掲げ、個々の病院が用意する意思表明書も多くなりました。

何年か前までLWと言えば尊厳死協会でした。それがそうでもなくなり、高齢者が愛用するエンディングノートにもはさまれているほどの社会状況が変わりました。

一方、近年の大きな変化で、厚労省、各医学会の終末期医療ガイドラインが「本人意思尊重を第一に」と掲げ、個々の病院が用意する意思表明書も多くなりました。



# 台湾に新たな尊厳死法「患者自主権法」が成立

台湾で今年1月、患者自主権法という、新たな尊厳死法が公布された（施行は3年後）。台湾では2000年に、政府の定めた事前指示書があれば終末期の患者に尊厳死を認めるホスピス緩和医療法ができた。以来16年間の実績を踏まえて作られた新法は、対象を末期患者だけでなく、「極めて重度の認知症」や「持続的植物状態」、難病に広げたのが特徴だ。「アジア初の患者を主体とした法律」（台湾各紙）の詳細を現地報告する。

1月下旬、台北市内の国会議員会館に法案を提出した楊玉欣議員（41）を訪ねた。

## 新法の「生みの親」は車いすの国会議員

楊さんは19歳の時、進行性の難病・筋ジストロフィーを発症。日常生活の介助を受けながら、この

4年間、車いすで議員活動を続け、

社会的弱者を支援する法律を成立させてきた。「楊議員が先頭に立つたからこそ、法案に広い支持を得られた」と言われている。

楊さんは、「日本でも早く法律ができるといいでですね。何でも協力しましよう」と歓迎してくれた。

新法は、患者の自己決定権の尊重と、「善終」（尊厳ある安らかな死）の権利の保障を、立法の目的に掲げている。

楊さんは、そのために新法が定めた手続きを説明してくれた。

協議で患者の納得いく決定が行



同じ東アジア文化圏にありながら、台湾が日本と違うのは、尊厳死法制化の「先進国」であることだ。台湾が目指すのはどんな社会なのか。新法は3年後に施行される。

法案成立を報じる昨年12月19日の台湾各紙。議場の楊さんに各党議員が祝福に駆け寄った



「私たちは望まない医療を拒否する権利を持っている。安楽死ではありません」と楊玉欣さん

まず、「医療ケアの事前協議」（ACP）が行われる。患者と医療者、家族、医療代理人が集まり、患者が「昏睡状態ないしは意思表示の出来ない状態」になつた時、延命措置（生命維持治療と人工的栄養・水分補給）を受け入れるのか、あるいは拒否するのか等を話し合うものだ。

杨さんは、そのために新法が定めた手続きを説明してくれた。

協議で患者の納得いく決定が行

われれば、次はその内容を「事前医療決定（書）」（AD）として、2人の立ち会いの下に作成される。

医療者は内容に相違ないことを捺印して証明する。

「事前医療決定（書）」の電子データがその人の健康保険証（ICカード）に入力・登録されて、全ての手続きが完了する。

「新法の特徴は、対象を広げたところにあります」と楊さん。

法律は、延命措置の「差し控え」（不開始）や「中止」ができる対象として5種類を挙げた。「終末期」、「回復不能な昏睡状態」、「持続的植物状態」、「極めて重度な認知症」、「その他」だ。

「末期」の条件を外したのは、「末期でなくとも長期間、苦しむ患者を多く診ている医師から強い要望があつたから」で、世論調査でも99%の支持を得たという。

5つの状態の判定は、専門医2人の確定診断と緩和医療チームの

新法を日本の私たちの視点で見てみよう。日本尊厳死協会は医療の自己決定を重視している。新法も同じだ。家族は患者の決定に基づく医療行為を妨げることはできないと定めた。

議員連盟の作成した法律案は、終末期患者に対する延命措置の「差し控え（不開始）」と「中止」を認める。新法も同様だ。民事・刑事・行政上の責任を負わない免責条項も一致している。





# みんなで終末期医療の議論を深めましょう

LW研究会にどうぞ

「2025年問題」がいわれる超高齢多死社会では、病院中心の医療供給体制では対応しきれないことが明白で、「在宅」「高齢者施設」での看取りシフトが注目されています。「最期の場所」の選択は、最期の医療、そして最期の自分らしい生き方の選択です。

かつて「生活の場」で当たり前に起きていた人生の終焉。医療の発達や家族の変化と相まり自宅死と病院死との割合が逆転したのが1976年。現在、国民の死亡場所は病院77%（2014年、人口動態調査）です。協会会員の場合、病院死は63%（15年、ご遺族アンケート）とより低く、LWを持つ人が自分らしい最期を求める選択肢が広がっています。

こんなことも話題にして「最期の場所」について現状と課題を第5回リビングウイル研究会で探ります。

## 支活動部 最前線 2016

東海支部「シンクタンクの会」

### 法制化を目指し 専門家が議論

東海支部は6年前、「終末期医療の法制化研究会」（通称「シンクタンクの会」）を立ち上げた。  
「終末期医療の問題点を洗い出し、協会としてそれを解決していき、尊厳死法制化の実現に結び付ける」（青木仁子前支部長）のが目的だ。年1回の開催で、医師ら医療従事者、弁護士、学者、国会議員ら専門家約50人が参加する。

#### 「シンクタンクの会」の歩み

第1回・2010年5月23日

テーマ「尊厳死法制化のいままでとこれから」

第2回・2011年12月4日

テーマ「法制化に関する主な問題点」

※愛知県医師会、名古屋市医師会との共催始まる

第3回・2012年11月25日

テーマ「胃ろうの功罪」

第4回・2014年3月2日

テーマ「終末期の自己決定—認知症の側面から—」

※「抄録」の作成、配布を始める

第5回・2015年3月8日

テーマ「回復不能な遷延性意識障害（持続的植物状態）を考える」

第6回・2016年2月14日

テーマ「終末期と救急医療—医師の判断・患者の意思—」



予定の1時間半が瞬く間に過ぎるほど、発言が相次いだ／名古屋市の愛知県医師会館にて

#### 延命治療「中止」の可能性

取り上げたのは、蘇生治療を拒否しているALS（筋萎縮性側索硬化症）患者が心不全で搬送されたケースと、「タバコを止めるくらいなら医者にかからず死ぬ」が口癖の愛煙家が意識障害で運ばれたケース。岩田教授は、救命医療を行なうか、行わないかの判断を短時間で下さなければならない、救急医療のむずかしさを率直に語った。

続いて東海支部理事の青山邦夫弁護士（元名古屋高裁判事）が、法律面から見た救急医療の問題を

基調報告した。日本救急医学会などが「救急・集中治療における終末期医療に関するガイドライン」を出しており、法律学者の間ではガイドラインに沿って行われる「延命治療の中止」は検察から起訴されることはないという合意がされているようだと語った。続く参加者の意見交換では、消防の救急隊員、病院勤務医、在宅医療に当たる「かかりつけ医」らが、救急医療の現実とそれとの立場からの課題や悩みが語られ、防の救急医とかかりつけ医の連携が必要」などの提案が出た。

岩尾總一郎協会理事長は、「救急医とかかりつけ医の連携が必要」などの提案が出た。

のリビング・ウイルを説明し、「自分のことは自分で決める」ことをまず広めていきたいと訴えた。東海支部ではこの会とは別に、「終末期医療・法理研究会」を年6回ほど、開催している。「医師・法律家が一丸となり、患者の願う終末が迎えられるような体制づくり、法整備に取り掛かる必要がある」として発足した。

## 第5回日本リビングウイル研究会

協会設立  
40周年

テーマ

### 「最期はどこで～自分らしい終章を求めて」

日時 2016年6月18日(土) 午後1時～4時

会場 政策研究大学院大学 想海樓ホール(東京都港区六本木7-22-1)

最寄駅：都営大江戸線六本木駅（7出口）、東京メトロ日比谷線六本木駅（4A出口）、東京メトロ千代田線乃木坂駅（5出口）をご利用ください。

定員 300人（申し込み方法は下記）、無料

スケジュール

○開会挨拶 岩尾總一郎代表幹事

○講演（午後1時15分）近藤正臣さん（俳優、会員）

○ワークショップ（午後2時～途中休憩あり）

長尾和宏（副理事長）を座長に、在宅医療や高齢者施設での看取りに向かい合う次の方々から現状と問題を話していただき、会場から参加者の発言も交えて、議論を深めます。

スピーカー 井尾和雄さん（医師、立川在宅ケアクリニック）  
宮城島正行さん（医師、聖隸クリニック南大沢・明日見らいふ）

参加方法

往復はがきに住所、氏名（以上返信にも）、電話番号、会員・一般を明記して、5月10日までお申し込みください。おひとり1枚、先着順。入場券は返信はがきでお送りさせていただきます。

あて先は、〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8-501  
(財)日本尊厳死協会 LW研究会係

■開催に関する最新情報は  
協会ホームページでご確認ください。<http://www.songenshi-kyokai.com>

# 春 活 支 動 部 夏 2016

会員になつても  
LWの勉強は  
続きます  
ぜひご参加を



昨年11月のLW研東海地方会

「痛み、苦しみのない最期を求めて」がテーマ。  
中島一光医師が在宅ホスピスケアを紹介した。

## 北海道 支部

☎ 011-736-0290

### 石飛幸三氏講演会

公開講演会in札幌として

日程○5月11日(水) 午後1時半～4時  
会場○札幌エルプラザ 3階ホール  
(札幌市のJR札幌駅北口前)

講師の石飛氏は東京の特養老人ホーム「芦花ホーム」常勤医師で協会関東甲信越支部理事。ホームでの静かな最期、静かな看取りで知られ、「平穏死」のすすめ(講談社)の著者。

定員○320人、問合せは支部へ

### おしゃべり広場

日程○4月19日、5月17日、6月21日  
いずれも火曜日、午前10時～正午

会場○札幌エルプラザ 研修室  
先着24人 予約不要 6月の会場は4月以降支部にお問い合わせください。

### 旭川地区懇話会おしゃべりサロン

日程○6月1日(水) 午後1時～  
会場○旭川市のときわ市民ホール

## 東海 支部

☎ 052-481-6501

### 第11回 リビングウイル 懇話会in津

日程○5月22日(日) 午後1時～4時  
会場○津市の三重県総合文化センター  
(生涯学習センター2階視聴覚室)

報告「尊厳死について考える」

講師○小林司支部長

報告「津市の在宅医療の現状」

講師○草川雅之・草川医院院長(津地区医師会理事)

講演「在宅ホスピスケアを目指して」

講師○中島一光氏  
(愛知県大府市・いきいき  
在宅クリニック院長)

意見交換があります。

後援○三重県医師会、  
三重県看護協会、中日新聞社

定員○140人



## 中国地方 支部

☎ 082-244-2039

### 出前講座in岡山

日程○4月29日(金) 午後1時半～3時  
会場○岡山県井原市西江原町長谷  
名刹「法泉寺」本堂

講演「終活とリビングウイル」

講師○正木文治支部長

定員100人、一般の方も歓迎、無料  
問い合わせは支部事務所へ

### LWよろずサロンin広島市

終活、LW等について語り合いましょう。  
日程○4月16日(土)、5月14日(土)。  
いずれも午後2時半～4時半

会場○合人社ウェンディひと・まちプラザ研修室C  
(広島市まちづくり市民交流プラザ)

予約不要、どなたでも。

### 第20回 仙台駅横 リビングウイル 交流サロン

テーマ「最期は鎮静か、あくまで鎮痛か」

日程○4月15日(金) 午後2時～3時半

会場○せんだいアエル6階特別会議室  
(JR仙台駅西口2分)

NHK「クローズアップ現代」(1月19日放送)で  
提起された最期の医療のあり方が波紋を呼んでいます。  
あなたなら…。  
第21回は7月8日(金)、場所・時間は今回と同じ。

## 関東甲信越 支部

☎ 03-5689-2100

### 公開講演会in長野

日程○7月14日(木) 午後2時～午後4時

会場○長野市のホクト文化センター小ホール  
(JR長野駅より徒歩12分)

講演「終活 安らかな看取り」

講師○鈴木裕也・協会副理事長  
(医師、元埼玉社会保険病院名誉院長)

### 地域サロンのご案内

終活や尊厳死について話しましょう。

#### サロン横浜西

日程○4月13日(水) 午後2時～4時

会場○横浜市泉公会堂 第一会議室  
(相鉄線いずみ中央駅下車3分)

#### サロン横浜南

日程○5月17日(火) 午後2時～4時

会場○横浜市磯子公会堂 会議室  
(JR根岸線磯子駅下車5分)

#### サロン習志野

日程○6月22日(水) 午後1時～3時

会場○習志野市市民プラザ大久保  
(京成線大久保駅下車10分)

予約不要。

### サロンin本郷

日程○4月8日、4月22日、5月13日、5月27日、  
6月10日、6月24日。

いずれも金曜日午後1時半～3時

会場○支部事務所(本部事務局内=地下鉄丸ノ内  
線、大江戸線「本郷三丁目」駅すぐ)

要予約で支部まで。

### 石狩南部地域懇話会春季研修会

尊厳死に関する勉強会

日程○5月29日(日) 午後1時～3時

会場○千歳市社会福祉協議会2階会議室

### 北広島地区懇話会公開講演会

日程○5月17日(火) 午後2時～3時半

会場○北広島市芸術文化ホール

講演「尊厳死を事例から考える  
～365日・24時間の対応から」

講師○川合 昇支部顧問

先着70人

問い合わせ先○011-372-1183(田上、懇話会事務局長)

### 帯広とかち地区懇話会

#### 第3回定期講演会

テーマ「生きること、死ぬことの大切さ  
～介護・医療制度を理解する」

日程○5月7日(土) 午後1時半～4時

会場○帯広市のとかちプラザ 4階402号室  
(JR帯広駅南口正面)

講師未定、資料代として500円ご寄付お願ひいたします。

## 東北 支部

☎ 022-217-0081

### 春の公開講演会

テーマ「医学教育と尊厳死  
～若者に見る最近の傾向」

日程○5月15日(日) 午後1時半～3時半

会場○仙台市福祉プラザ「ふれあいホール」  
(地下鉄南北線「五橋」下車、徒歩3分)

講師○岩手医科大学名誉教授・  
東北支部理事 斎藤和好氏

定員○300人

一般の方もどうぞ(無料)

問い合わせは支部へ



## ご寄付ありがとうございました (敬称略)

青木喜久子	3,000
伊藤陽子	50,000
伊藤宣之	4,000
浦西和子	1,278
大谷茂子	3,000
太田文子	5,000
小川明子	1,000
岡田正雄・あゆ	4,000
小倉祥子	30,000
小野田武子	3,120
上條真美	19,988
川合晃・靖子	1,000
河内光子	3,000
木村晶子	1,000
工藤扶公	27,770
児玉純枝	5,000
小林千鶴子	10,388
近藤弓恵	1,000
在前正明	4,000
酒井康雄	3,000
坂元祥子	10,000
佐々木憲之・暢子	2,000
里 ヤスエ	2,000
白崎昭一	10,000
鈴木紀久栄	3,000
関口光枝	1,000
高橋三千子	10,000
武部昌司	2,000
玉木光子	4,000
鶴川征子	5,000
寺井千鶴子	10,000
野崎節子	5,800
蓮沼雪江	2,312
原田 茂	50,000
平田忠康	2,000
外西壽鶴子	10,000
保坂キミ	7,800
真下和雄・紀伊	2,000
松 智恵子	1,800
森光洋子	1,000
安澤菊枝	10,000
山下律子	3,000
山本幸子	10,000
吉岡安子	1,300
匿名	2,000
匿名	2,000

【北海道支部扱い】	
多賀谷マリ子	2,000
徳佐 信	2,000
山野 明子	2,000
匿名	1,000
【東海支部扱い】	
大村昭夫	10,000
【関西支部扱い】	
酒井祥子	1,066
宮 清子	5,000
【中国地方支部扱い】	
長沼治子	100,000
【四国支部扱い】	
池田京子	10,000

日本尊厳死協会では皆様からお寄せいただいたご寄付を、リビング・ウイルの普及啓蒙活動などのためにありがたく活用させていただいております。2014年度は、943万4106円のご寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用ください。  
いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であることをお書き添えください。  
皆さまのご協力、ご支援をお待ちしております。

医療相談  
(通話無料)

0120-979-672  
月・水・金曜日 午後1時~5時(変更あり)

病気や医療、特に終末期の医療について、心配ごとや困りごとを専門の相談員がお聞きし、サポートいたします。

医療相談は、協会が最も重視している会員向けの無料サービスです。

会員とそのご家族の医療に関する悩み・迷い・疑問を、経験豊かな専門の相談員が丁寧にお聞きして、皆さま自身が主体的に考えて解決していくよう支援しています。

「電話相談でアドバイスをいただき、迷いが取れ、大変気が楽になりました」というお言葉もいただいています。

2014年度は965件の相談が寄せら

れました(会報158号に詳報)。「医師から胃ろうを勧められているが……」「いま行われているのは延命措置なのか救命治療なのか」「医師とどう話し合いを進めていかなければならない」等々、ご相談内容は多岐にわたっています。医師がわかりやすく説明していないため、混乱してしまうケースも少なくありません。会員とそのご家族ならばどなたでもご相談いただけます。お電話をお待ちしています。

### リビング・ウイル —いのちの遺言状—



リビング・ウイル(尊厳死の宣言書)をやさしく紹介する20分のDVD(協会制作・発行)。支部の出前講座の教材として、また講演会での放映などに最適です。ご注文は協会書籍と同じく協会事務局まで。  
税・送料込1100円。

### 第9回サロン交流会

日程○4月26日(火)午後1時半~3時半  
会場○関西支部事務所

「認知症とリビング・ウイル」をテーマに、担当の二松康副支部長がお話をしたあと自由に話し合いをします。

### 四国支部

☎ 089-993-6356

### 愛媛・一般公開講演会

日程○5月15日(日)午後1時半~3時半  
会場○愛媛県美術館講堂(松山市堀之内)

講演「認知症を理解する」

講師○大八木保政氏(愛媛大学医学部教授)

### ビデオ上映

「リビング・ウイル～いのちの遺言状～」

医療相談

### 支部サロン・喫茶去だんだん

お茶を飲みながら終活や尊厳死について話しましょう。

4月1日(金) 私のストレス解消法

5月6日(金) 死ぬまでにしておきたい事

6月3日(金) おすすめの本・映画・ドラマ  
午後1時半~3時半、松山市の支部事務所

### 趣味あれこれ会

絵手紙・俳句等楽しんでいます。

日程○4月15日、5月20日、6月17日。

毎月第3金曜日午後1時半~3時半

会場○支部事務所

### 関西支部

☎ 06-4866-6365

## 第2回 関西リビング ウイル研究会

### テーマ「認知症の終末期ケア」

日程○6月11日(土)午後2時~4時半

会場○大阪府豊能町のユーベルホール

能勢電鉄(阪急電鉄梅田→川西能勢口乗り換え)ときわ台駅15分

基調講演○長尾和宏支部長(医師)

### パネルディスカッション

長尾支部長、丸尾多重子(NPO法人つどい場さくらちゃん代表)、木寺喜義(豊能町介護者家族の会)、馬渡秀徳(まわり内科医)、小宮悦子(看護師、フリーステーション代表)の各氏

主催○関西支部、豊能町介護者(家族)の会

共催○大阪府豊能郡豊能町社会福祉協議会

### 定例サロンへのお誘い

日程○毎週火曜日午後1時~4時

4月5、12、19、26日

5月10、17、24、31日

6月7、14、21、28日

会場○関西支部事務所(新大阪駅5分、御堂筋に出ると屋上にLIXILのオレンジ色の看板の見えるビルの7F)

協会、終末期、リビング・ウイル、エンディングノートのことなど、支部理事がお答えします。予約不要ですのでお気軽に。

## 出前講座を開きましょう!

### 出前講座とは

支部理事が講師となり、用意していただいた場所に出向いて「リビング・ウイルとは何か」等をやさしく説明する、1時間半ほどのミニ勉強会です。疑問や質問にもお答えします。非会員だけでなく、会員の皆様も理解を深める良い機会となります。

### ✓「出前先」はこんな場所

公民館や敬老会の催し、趣味の会、企業の勉強会など様々です。場所は問いませんが、会場費は負担していただきます。

### ✓「出前先」をご紹介ください

昨年度は全国で計117回開かれ、5000人が参加しました。仲間を増やしたいですね。お問い合わせは支部まで。

出前講座  
はいかがですか?

近づく超高齢・多死時代  
備えは万全ですか?  
尊厳死協会の  
出前講座  
はいかがですか?

ご依頼により講師を派遣します

■ 老人健やか人生の最後を説明するために  
■ 「出前」で向ける「リビング・ウイル」などについて  
■ 介護問題について  
■ お人間にもたらせたい方

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
新緑ホームケアクリニック	内科	大地哲郎	神奈川県横浜市緑区十日市場町853-14	045-989-5600
みらい在宅クリニック	内科	沖田将人	神奈川県横浜市南区浦舟町2-22 ベイシティコート横浜102	045-326-6992
三輪医院	内科 リウマチ科 呼吸器科	千葉 純	神奈川県横須賀市鶴が丘2-3-2	046-822-7045
野村内科クリニック	内科 在宅医療	野村良彦	神奈川県横須賀市林1-23-6 2F	046-858-1371
野村内科クリニック	内科 在宅医療	佐々木純久	神奈川県横須賀市林1-23-6 2F	046-858-1371
小磯診療所	内科	磯崎哲男	神奈川県横須賀市鶴居2-80-9	046-842-9571
光和会 保土ヶ谷在宅クリニック	精神科 心療内科 緩和ケア内科	菊田恵義	神奈川県横浜市保土ヶ谷区西久保町53 植木ビル2F	045-342-0881
悠久すこやか会 丸山内科クリニック	内科	丸山健行	神奈川県厚木市妻田東2-30-38	046-221-6480
逗子銀座通りクリニック	内科	野口芳一	神奈川県逗子市逗子1-7-3 百丹ビル2F	046-870-3401
藤野在宅緩和ケアクリニック	内科 緩和ケア科	石橋了知	神奈川県相模原市緑区名倉837-6	042-684-9166
榎会 千城台クリニック	内科	光永伸一郎	千葉県千葉市若葉区小倉町829-2	043-233-2222
圭恵会 すずらんクリニック	内科 緩和ケア内科 泌尿器科 精神科 ペインクリニック 歯科	竹内圭志	千葉県千葉市緑区おゆみ野4-2-7	043-312-5070
加賀谷正クリニック	外科 内科	加賀谷 正	千葉県松戸市東松戸3-7-19	047-312-7707
常盤平おひさまクリニック	内科 緩和診療	林 釣貴	千葉県松戸市常盤平2-24-2	047-711-7531
白羽会 つばさ在宅クリニック西船橋	内科 泌尿器科	永島徳人	千葉県船橋市西船4-14-12-701	047-495-0111
麒麟会 若葉クリニック	訪問診療	若月冬樹	千葉県船橋市上山町1-157-1	047-303-0805
まこと医院	内科 整形外科 皮膚科	矢野 誠	千葉県鎌ヶ谷市東道野辺5-9-26	047-489-1899
つかだファミリークリニック	内科 循環器内科 消化器内科 外科	塙田雄大	千葉県成田市加良部5-7-2	0476-26-4750
昌健会 おおあみ在宅診療所	内科 神経内科 形成外科 精神科 緩和ケア内科	伊藤嘉恭	千葉県大網白里市駒込780-1	0475-71-1277
誠信会 かさい医院	内科 外科	河西信勝	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷2-14-3	048-833-6226
上青木中央医院	内科 外科 消化器科	岡崎俊哉	埼玉県川口市上青木4-2-6	048-267-2218
ふじみ野中央クリニック	内科	佐藤勝輝	埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡4-16-15	049-256-5500
みづの会 みづの内科クリニック	内科	水野康司	埼玉県所沢市中新井4-27-4	04-2942-4100
双葉クリニック	内科 外科	小野田 忠	埼玉県所沢市けやき台1-36-7	04-2922-5171
幹クリニック	内科 放射線科 麻酔科 緩和ケア	本戸幹人	埼玉県上尾市上平中央1-19-10	048-774-4877
生きいき診療所 ゆうき	内科 外科 整形外科 総合診療科	荒井康之	茨城県結城市結城9144-1	0296-45-6500
東岩瀬クリニック	内科	阿部正浩	富山県富山市高畠町1-11-11	076-426-0880
雨晴クリニック	整形外科 精神科	坪田 聰	富山県高岡市太田桜谷23-1	0766-44-8061
オレンジホームケアクリニック	総合診療科	紅谷浩之	福井県福井市田原1-3-5	0776-21-3333
ひらい医院	内科 消化器科	平井雅道	福井県越前市新町8-1-11	0778-25-4118
まるやまホームクリニック	内科	丸山典良	広島県福山市南蔵王町6-27-26 ニューカモメマンション102	084-943-7307
聖仁会 戸谷医院	内科	戸谷誠二	広島県庄原市西本町2-15-31	0824-72-3131
りんりんクリニック	内科 在宅医療 緩和ケア	林 経堯	広島県安芸郡熊野町萩原5-1-55	082-847-3219
コールメディカルクリニック広島	訪問診療	藤岡泰博	広島県広島市西区古田台2-12-9	082-527-0455
鼻岡内科医院	内科 胃腸科 循環器科	鼻岡 浩	広島県廿日市市宮内1-10-20	0829-39-6555
表町ファミリークリニック	内科	小塚輝彦	岡山県岡山市北区表町3-10-71	086-222-4939
天成会 小林内科診療所	内科 心療内科	小林完治	岡山県岡山市北区青江5-1-3	086-226-5022
森脇内科医院	内科	森脇和久	岡山県岡山市北区津高712-1	086-253-1567
秀樹会 大橋内科医院	内科	大橋 基	岡山県岡山市北区一宮144-2	086-284-5552
おか内科耳鼻科	内科 消化器科 呼吸器科	岡 秀行	岡山県倉敷市児島稗田町1957	086-472-7780
井上クリニック	麻酔科 内科	井上裕昭	岡山県倉敷市玉島上成538-15	086-525-8600
井上クリニック	麻酔科 内科	井上恵子	岡山県倉敷市玉島上成538-15	086-525-8600
守屋おさむクリニック	内科 呼吸器科	守屋 修	岡山県倉敷市玉島乙島932-43	086-522-6131
藤井クリニック	訪問診療 内科 整形外科	藤井基弘	岡山県総社市三輪1022-2	0866-31-7616
橋本外科医院	外科	橋本英宣	鳥取県鳥取市大村204-3	0857-29-1281
赤崎診療所	内科 外科 整形外科 消化器科 循環器科	青木哲哉	鳥取県東伯郡琴浦町赤崎1920-74	0858-55-0624
そだクリニック	外科 内科 透析科 整形外科	祖田由起子	山口県岩国市山手町1-2-6	0827-21-0100
岩国市立美和病院	内科 外科 小兒科 精神科	尾中祥子	山口県岩国市美和町渋前1776	0827-96-1155
海風診療所	内科 脳神経外科	沼田光生	山口県周南市梅園町1-38	0834-33-0889
あめやまクリニック	内科 外科 麻酔科 リハビリテーション	鮎山 晶	山口県下関市菊川町田部1148-5	0832-88-1000
千葉クリニック	外科 内科	千葉武彦	山口県下関市豊田町中村6-1	083-766-0501
すえなが内科在宅診療所	内科 緩和ケア内科	末永和之	山口県山口市鰐石町1-12	083-902-5300
あおぞら耳鼻科	耳鼻咽喉科	平賀 智	徳島県鳴門市大津町吉永字前ノ越274	088-684-4685

## LWの受容協力医師

第83報

2015年12月～2016年2月の間に  
新しく登録された医師の方々です。

今回、多数の医師の方にご登録頂き、有難うございます。

誌面の都合により、関西地域につきましては次号に掲載致します。あしからずご了承下さい。

[会員医師]

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
八戸在宅クリニック	内科	山名保則	青森県八戸市岩泉町7	0178-47-7778
聖誠会 石澤内科胃腸科	内科 心療内科	石澤 誠	青森県弘前市新町151	0172-34-3252
葵会 もりおか往診クリニック	在宅医療	木村幸博	岩手県盛岡市東見前6-85-1	019-614-0133
ささきクリニック	ペインクリニック 麻酔科	佐々木壽美	岩手県花巻市中北万丁目836	0198-22-4116
小野内科胃腸科クリニック	内科 胃腸科 消化器科	小野和彦	山形県村山市樅岡五日町14-25	0237-52-5050
近江医院	内科 呼吸器科	近江徹廣	宮城県大崎市三本木字しらとり17-3	0229-52-3057
東京白報会 あだち在宅診療所	内科	小畠正孝	東京都足立区千住仲町40-11 朝日生命北千住ビル3F	03-5813-5770
容生会 増田クリニック	総合診療科 他	増田勝彦	東京都足立区南花畠5-17-1	03-3885-7206
久光クリニック	内科 消化器科 循環器科 呼吸器科	石田隆雄	東京都足立区一ツ家2-20-10 ウィンザーパレス1F	03-5831-0502
明桜会 ハラダクリニック	内科 小兒科 消化器科 循環器科 泌尿器科 心療内科	原田芳明	東京都足立区西伊興4-9-11	03-5837-1515
和(なごみ)クリニック	緩和医療科 在宅医療	八田充子	東京都荒川区町屋2-9-2-503	03-5692-7131
双愛会 ファミリークリニック蒲田	内科 外科	伊谷野克佳	東京都大田区蒲田4-37-14	03-5480-1810
福招会 葛飾在宅ケアクリニック	内科	黒木雅彦	東京都葛飾区水元2-13-6 福招会医療ビル2階	03-5660-2811
隆樹会 木村クリニック	内科 整形外科	木村隆雄	東京都北区神谷1-15-9 MEDICAL48-1・2F	03-3911-1220
逸生会 大橋病院	内科	松岡利恵	東京都北区桐ヶ丘1-22-1	03-3907-1222
咲和会 東京東部サンライズクリニック	内科 在宅医療	花上和生	東京都江東区東陽3-23-11 イーストヴィレッヂエンドウ1F	03-5857-6336
平生会 神原医院	内科	神原礼文	東京都江東区北砂7-3-17	03-3645-7351
荏原内科・外科クリニック	内科 在宅医療	小林秀規	東京都品川区荏原2-3-8-201	03-5751-7470
佐藤内科小兒科医院	内科 小兒科	佐藤 廣	東京都新宿区四谷1-15	03-3351-3007
木村医院	内科 小兒科	木村トミ子	東京都墨田区墨田5-35-6	03-3618-5501
穂来彩クリニック	内科 訪問診療	洪 有錫	東京都墨田区東向島4-38-2	03-5631-7890
千歳台はなクリニック	内科	大西聖子	東京都世田谷区千歳台5-22-1	03-5490-7061
桜新町アーバンクリニック	内科 在宅医療 緩和ケア	遠矢純一郎	東京都世田谷区用賀2-15-5	03-5716-5220
桜新町アーバンクリニック	内科 在宅医療 緩和ケア	五味一英	東京都世田谷区用賀2-15-5	03-5716-5220
桜新町アーバンクリニック	内科 在宅医療 緩和ケア	篠田裕美	東京都世田谷区用賀2-15-5	03-5716-5220
桜新町アーバンクリニック	内科 在宅医療 緩和ケア	風戸光一朗	東京都世田谷区用賀2-15-5	03-5716-5220
椿診療所	内科	椿 哲朗	東京都台東区日本堤1-6-11	03-3876-1718
山田英明下町クリニック	外科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科	山田英明	東京都台東区西浅草3-16-6 岩岡ビル1F	03-5806-3077
有洸会 三番町クリニック	内科 外科	西野輝泰	東京都千代田区三番町30-8-605	03-5215-5755
ゆみのハートクリニック	内科 循環器科 呼吸器科 在宅医療	弓野 大	東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル1F	03-5956-8010
光メディアクリニック	内科 老年科	福与光昭	東京都豊島区北大塚3-34-1 DTビル4F	03-5907-6684
中村診療所	内科	中村洋一	東京都中野区本町5-39-2	03-3381-3797
城北さくらクリニック	内科 在宅医療	犬丸秀雄	東京都練馬区練馬1-12 下島ビル3F	03-5912-0203
すずしろ診療所	内科 小兒科 心療内科 消化器内科	黒部信一	東京都練馬区練馬1-15-1	03-3557-1131
神楽坂ホームケアクリニック	訪問診療 在宅医療	久保雄一	東京都文京区関口1-13-14 向井ビル2F	03-5227-7878
文京根津クリニック	老年内科 内科	任 博	東京都文京区根津1-1-18 パライソ和田ビル3F	03-3821-2102
光輝会 麻布光輝クリニック	内科 皮膚科 在宅医療	土屋輝昌	東京都港区西麻布3-3-2	03-6240

## ●本部

〒113-0033

東京都文京区本郷2-27-8  
太陽館ビル501

TEL 03-3818-6563

FAX 03-3818-6562

メール

info@songenshi-kyokai.com

ホームページ

http://www.songenshi-kyokai.com

郵便振替口座

東京00130-6-16468

## ●北海道支部

〒060-0807 札幌市北区

北7条西2丁目6 37山京ビル801

TEL 011-736-0290

FAX 011-299-3186

## ●東北支部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町

1-12-39 旭開発第2ビル703号室

TEL 022-217-0081

FAX 022-217-0082

## ●関東甲信越支部

〒113-0033 東京都文京区

本郷2-27-8 太陽館ビル501

TEL 03-5689-2100

FAX 03-5689-2141

## ●東海支部

〒453-0832 名古屋市中村区

乾出町2-7 正和ビル2階

なかむら公園前法律事務所内

TEL 052-481-6501

FAX 052-486-7389

## ●北陸支部

〒920-0902 金沢市尾張町1-7-1

山崎法律事務所内

TEL 076-232-0900

FAX 076-232-0932

## ●関西支部

〒532-0003 大阪市淀川区

宮原4-1-46 新大阪北ビル702号

TEL 06-4866-6365

FAX 06-4866-6375

## ●中国地方支部

〒730-0024 広島市中区

西平塚町2-10

TEL 082-244-2039

FAX 082-244-2048

## ●四国支部

〒790-0067 松山市大手町1-8-16

二宮ビル3F B

TEL 089-993-6356

FAX 089-993-6357

## ●九州支部

〒810-0001 福岡市中央区

天神1-16-1 毎日福岡会館5階

TEL&FAX 092-724-6008

# 尊厳死の宣言書

(リビング・ウイル Living Will)

私は、私の傷病が不治であり、かつ死が迫っていたり、生命維持措置無しでは生存できない状態に陥った場合に備えて、私の家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望を宣言いたします。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にある時に書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成しない限り有効であります。

①私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断された場合には、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りいたします。

②ただしこの場合、私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください。

③私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめてください。

以上、私の宣言による要望を忠実に果たしてくださった方々に深く感謝申し上げるとともに、その方々が私の要望に従ってくださった行為一切の責任は私自身にあることを付記いたします。

## リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わ  
りが近づいたら延命措置を望ま  
ないで、自然の摂理にゆだねて  
寿命を迎えるご自分の意思を表  
したりビング・ウイル「尊厳死  
の宣言書」を発行、その普及に  
努めています。現在12万人近くの方々がリビ  
ング・ウイルを持ち、安心した日  
々を送っています。自然のまま  
寿命を迎えることは、最期の日  
々をよりよく生きることであり、今を健やかに生きることに  
つながります。  
お友だちやお知り合いに協会  
や「宣言書」のことをお伝えい  
ただければと願っています。

各支部HPへのアクセスは  
本部HPからのリンクをご利用ください。

## 事務局から お願い

### ●会員番号について

・協会への様々な問合せや連絡(住所変更、カード再発行、会費支払等)には、会員番号(会員証や宣言書コピーに記載)が必要です。お手元にご用意ください。

### ●会費について

・会費は年1回お支払いいただきます。会報が緑色のビニール封筒で届いたら会費の納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷してあります。  
・この払込票には、会員の住所が省略されています。転居のご連絡以外は、住所の記入は不要です。  
・振込手数料の安いコンビニ払いをお勧めしています。  
・会費の振り込みを証明する領収書は、念のため1年間保存してください。

### ●退会の手続き

・退会には会員の手続きが必要です。本部事務局までご連絡ください。会員がお亡くなりになった場合は、ご遺族からのご連絡をお待ちしています。

### 今号の1枚『陽だまりの樹』



時節がめぐり  
緑萌え  
花こぼれる  
大自然の営み  
思わず手を合わせる  
耳を澄ませば  
豊饒な物語が  
聞こえないか

### 訂正

160号木内みどりさんのインタ  
ビュー記事で、「夫(木内誠一氏)」と  
あるのは、「夫(水野誠一氏)」の誤り  
でした。お詫びして訂正します。

私はもう少し関心をもつ  
ちですが、日本と同じ東アジア  
文化圏で起きていることに  
私たちも興味があります。日本と同  
じく欧米から学んできた台湾  
がなぜ法制化的先進国にな  
たのか、知りたいことはたくさん  
あります。(清水)

## Living Will 目次

—会報2016年4月 No.161 —

02 インタビュー  
協会名誉会長 井形昭弘さん

06 2015年ご遺族アンケート  
9割が「LWは生かされた」

08 台湾に新たな尊厳死法  
重度認知症、  
持続的植物状態も対象に

11 議員連盟シンポジウム

12 ●LWのひろば

14 ●第5回日本リビングウイル研究会

15 ●支部活動 最前線  
東海支部「シンクタンクの会」

16 ●支部活動 2016春~夏

19 ご寄付/医療相談無料電話

20 LW受容協力医師リスト

22 事務局から/編集後記/目次

23 尊厳死の宣言書/本部支部一覧  
裏表紙  
出版案内

協会会員:11万7086人

(2016年3月7日現在)

次号は、  
2016年7月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。  
引用、転載に関しては当協会にご相談ください。

## 編集後記

●表紙をめくると貞いいっぱいの写真。会報全体に「見る」場面が多くなり、雰囲気が変わった印象でしょうか。その分「読む」方が減らないよう必要データは押えていました。よりビジュアルな誌面をめざして、「デザインで読む」冒険的な試みですが、ご意見をお聞かせください。(白井)